

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 31
2019・11・16

1 アフリカ豚コレラがポーランド北部から西部に拡大
ードイツ国境から 80 km の地域の猪に発生ー (2019・11・15)

ポーランドの獣医管轄当局は、今日（11月15日）ドイツに対して次の情報を提供した。2019年11月14日にポーランドのフスホーヴァ郡（訳注・ポーランド西部ルブシュ県）の Woiwodschaft Lebus で死亡して見つかった猪に、アフリカ豚コレラ（ASP）が確認された。この地はブランデンブルグ州のドイツ国境から、約 80 km 離れたところである。5 年来ポーランド北部でこの伝染病が発生していた。そこは今回の発生地から約 250km 離れている。

連邦農業省は、ポーランド当局、EU 委員会と頻繁に情報交換を行っている。既に 2018 年 6 月にポーランド獣医当局とドイツは、共同の訓練を行っている。つまり、アフリカ豚コレラの確認後、その地域並びに両国の上位の獣医管轄当局との間の、速やかな情報の流れを保障することである。

これまでドイツにおいてアフリカ豚コレラの発症事例はない

この病気は、数年来ドイツにおいても、脅威となっている。そのため、連邦農業省は予防を第 1 の柱に据えている。特に数か国語の啓蒙キャンペーンを、スタートさせている。オンラインの活用と給油一休憩施設でのポスター、パンフレットで情報提供を行っている。なぜならば、ASP に汚染された豚製品の不注意なゴミ捨てが、猪の感染源になるからである。

連邦農業省は、養豚経営の中での生物安全対策の厳しい保持と、そして養豚衛生規則の規準遵守を新たに指示した。さらに猟師の職務権限を要請している。死んで見つかった猪を、それぞれの管轄局に届け出ることの徹底によって、適切な検査を確保する。

2 フォイヒテル政務次官：ドイツー中国の農業週間で政治会談

ードイツの肉産品、果物と穀物の輸出可能性を探るー (2019・11・15)

連邦農業省政務次官フォイヒテルが、2019年11月11日から16日まで、第5回ドイツー中国農業週間と関連した政治対話のために、中国を訪れた。これについて政務次官：”ドイツー中国の農業週間は、農業ー食料ー林業における両国の共同活動の中心的な開催イベントとして、既に5回開催している。この連携は共同計画の基礎に発展した。私はこの農業週間を中国の農業省同僚とともに、開催した。

そして同時に成果多いこの方式を強調したい。私の旅の目的は中国の代表者との対話を継続し、ドイツ農産物の輸出可能性を探り、今ある市場参入障害について、話し合うことである。政治対話の中心点に、中国の肉市場並びにドイツの果物、穀物の輸出可能性が据えられている。”フォイヒテル政務次官は、特に中国農業・農村大臣(MARA)との会談で、市場規則局(SAMR)と関税管理局(GACC)との接触を意図している。肉ー農業ー食品工業団体の代表者も、政務次官の中国訪問に随行している。

3 連邦農業省が農村における獣医と獣医休日当番制度の強化

ー連邦閣議が獣医診察料金規則の改正を決定ー (2019・11・14)

連邦閣議は2019年11月5日の会議において、連邦農業大臣クレクナーの提案した、第4次獣医診察料金規則の改正を決定した。この新しい規則は、獣医診察上の財政状況の改善に貢献する。このことは、獣医の休日当番業務を保証するために、特に重要である。農村での家畜診察における業務もまた、この改正によって獣医を惹きつけることができる。なぜならば、農村地域で獣医が不足しているからである。

この規則改正は、獣医業務のための新しい料金構造を含んでいる。この診察業務の基本料金として、50ユーロ(約6000円)が導入される。さらに休日当番獣医の夜間従事時間が、2時間延長される。これは18時に始まり、翌日の8時に終わる。この規則は獣医診察料金規則の全体的な改正に先行している。この目的は、獣医診察における収入構造を適切に組み立てることである。さらにこの規則改正は、動物愛護施設の状況も視野に入れている。これは高いコストと各州による部分的に不十分な財政のため、試練の前に立っている。

この規約の要約：

- ・ 獣医の休日当番診察について、休日当番基本料金 50 ユーロが導入された。そして最低でも 2 倍の料金率が定められた。
- ・ 補足的に、出費によって 4 倍の料金率が認められる。
- ・ 夜間の従事時間は 2 時間延長され、18 時から翌日の 8 時までとなった（以前は 19 時から翌日の 7 時まで）。
- ・ 週末の当番時間の始まりは、土曜日の 13 時から日曜日の 18 時まで延長された。
- ・ 家畜飼育者訪問のために生ずる出張旅費は統一される。現在は 2 k m 当たり 3、5 ユーロ（約 420 円）であるがこれは最低 13 ユーロ（約 1560 円）。

4 クレックナー大臣：「森の中のエラと冒険」ー「読み聞かせデー」の開催 (2019・11・15)

連邦大臣クレックナーは、連邦レベルでの「読み聞かせデー」に参加した。期待に満ちた顔、聞き耳をたてる。小学校の 4 つのクラスから 30 人の生徒達が、今日（11 月 15 日）連邦大臣クレックナーに、注意深く耳を傾けた。生徒たちは、ファニーヘンゼル（Fammy-Hensel）基礎学校（訳注・日本の小学校に相当）の図書館で、「森の中のエラと冒険」の本の読み聞かせに参加した。クレックナー大臣：本は想像力を呼び覚まし、新しい世界を切り開く。

今日の「読み聞かせ」から生徒たちは、森林を通じて多くのことを、そして森の重要性を学ぶ。朗読する生徒たちの誰もが、本に対して愛情のこもった方法で接する。そして自らに価値多い時間が贈られる。我々自身、慌ただしい日常において時間がない。私にとってずっと以前から心にかかっていることがある。「読み聞かせの日」を支援すること。

背景：

連邦レベルでの「読み聞かせデー」は、読み聞かせ基金とドイツ連邦鉄道基金の共同イニシアチブで開催される。このアクションデーは、2004 年以来毎年 11 月の第 3 金曜日に実施される。この連邦レベルでの「読み聞かせデー」は、読み聞かせの重要性を公的に示している。読み聞かせは感動を呼び起こし、そして子供たちが早くから書き、説明する言葉を、この催しで身につける事が目的である。

2019・11・15 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
